

【宮城産業保健法学研修会】無料連続講座 & LIVE配信 確かな法律知識に基づいて現場問題の解決を図る 講座「産業保健と法」

講師 近畿大学法学部 三柴 文典 教授

開催趣旨



この連続講座は、2020年4月から定期開催を予定していた「産業保健と法」に関する無料セミナーを、新型コロナウイルスに対する感染リスクを減らすため、人数限定・かつ連続受講が可能な方のみを対象とした開催に企画変更したものです。

近年、職場ではメンタルヘルス、ハラスメントなどの他労使間のトラブル、働き方改革などの改正法への対応に伴う諸問題など、人事労務担当者や産業保健職に課せられた課題や負担が大きくなっています。

そうした現状に対し、法令順守のみならず、最新かつ有用な法律知識の解釈・運用法を学び、現場での問題解決あるいはトラブルの未然防止を図ることを目的に、意欲的に学びたい、という方からのお申込みをお待ちしております。

なお、現地参加できない方には、ライブ動画配信 (You Tube)を行います。ご希望の方は下記要項に従いお申込み下さい。

講座内容・日時



	日時・場所	テーマ
第1回	7月17日(金) 18時30分～21時 TKPガーデンシティ仙台AER	典型的な問題事例と解説 ～採用とメンタルヘルスの問題を含む～
	産業医が、パーソナリティの問題が疑われる休職者の復職を不可としたことで、退職となった労働者が会社と産業医を相手方に訴訟を提起した実際の事例をモデルとした想定事例を素材として、関連する法知識について学んで頂きます。	
第2回	10月2日(金) 18時30分～21時	本音ベースのハラスメント防止策
	ハラスメント、特にパワハラやモラハラに関する法律論について、主要な裁判例や数多くの事例をもとに、実務上の留意点を解説します	
第3回	12月18日(金) 18時30分～21時	健康情報の取り扱いと法
	健康情報の取扱いについて、関係法令や行政が示してきた考え方の要点を示し、実務上起こりえる疑問点について解説します	
第4回	2月20日(土) 18時30分～21時	難治性疾患の雇患者を働かせてよいか～てんかん、糖尿病、脳血管疾患etc.+質疑応答
	障害者雇用促進法の改正等により、事業者に対する難治性疾患の雇患者への就労支援の要求がかかる一方、高齢者雇用安定法の改正や人口構成の高齢化等によりその対象者が増える傾向にあります。そこで、法的に求められる合理的配慮の内容について学びます	

現地受講の対象者：**4回の講座全て出席可能な方**、限定10-25名程度

LIVE配信の対象者：ご希望の方※**後日の動画配信はありません**。講座開催中のみ視聴可能

お申込み：google フォームでの受付⇒<https://forms.gle/6hU1pSYmVff5Uyvp7>

お問合せ：事務局(合同会社メディカルロゼ) info@medicalrose.co.jp



主催：一般社団法人産業保健法学研究会

協賛：医療法人仁泉会 みやぎ健診プラザ

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 東北支部

後援：全国社会保険労務士会連合会

日本産業保健法学会設立準備委員会